

令和6年度
(令和6年9月入学)

九州産業大学大学院 学生募集要項

(一般・社会人・外国人留学生入学試験)

博士前期課程

国際文化研究科
(国際文化研究分野)

経済・ビジネス研究科

情報科学研究科

工学研究科

博士後期課程

国際文化研究科
(国際文化研究分野)

経済・ビジネス研究科

情報科学研究科

工学研究科

芸術研究科

九州産業大学

建学の理想

九州産業大学大学院(以下「大学院」という。)は、九州産業大学(以下「本学」という。)の目的使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とし、建学の理想「産学一如」の実現を目指して教育・研究体制を整備している。産学一如とは、すなわち、「産」(産業界)と「学」(大学)とを連動させ、「学」を「産」に活かす教育(理論と実践の統合)を志向することである。

大学院の人材養成及び教育研究上の目的

大学院は、本学の建学の理想のもと、広く産業界の期待に応えられる“実践力”“熱意”“豊かな人間性”を持った人材を輩出すべく、深い教養に裏打ちされたグローバル化に対応できる心身共に健全な人間教育の実践に努めている。

大学院の入学者の受け入れ方針

〈博士前期課程〉

博士前期課程は、次の知識・能力・意欲を持った国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 各研究分野で必要な専門的な知識・技術・技能を身につける意欲のある人。
2. 熱意を持って研究に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献しようとする志のある人。
3. 国際社会や地域社会の課題に強い関心を持ち、専門的な知識・技術・技能を用いて主体的に課題解決に取り組もうとする人。

〈博士後期課程〉

博士後期課程は、次の幅広い知識・技能、研究・開発における遂行力を持った国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的かつ総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 高度な研究活動を通して成果を上げることに強い意志のある人。
2. 指導的な立場で、持続可能な社会の発展に積極的に貢献しようとする意志のある人。
3. 国際社会や地域社会の課題に取り組む探求心があり、課題解決のために高度で専門的な知識・技能、研究・開発における遂行力を活用しようとする人。

各研究科の人材養成その他教育研究上の目的、入学者の受け入れ方針

国際文化研究科

〈博士前期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

国際文化研究科は、国際文化研究分野と臨床心理学研究分野の2領域からなる。それぞれの分野において、現代のグローバル化社会において文化・教育、臨床心理学の各領域で活躍できる人材を養成する。国際文化研究分野では、欧米文化、日本・アジア文化、教育に関する深い知識を身につけた専門的職業人や研究者、教員を育成する。臨床心理学研究分野では、現代社会のニーズに応じた幅広い領域での心理的ケアを行える実践家と研究者を育成する。

〈入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー〉

国際文化研究科では、次の知識・能力・意欲をもった国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 文化、教育、臨床心理の領域で必要な専門的な知識・技術・技能を身につける意欲のある人。
2. 熱意を持って研究や実践実習に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献しようとする志のある人。
3. 国際社会や地域社会の課題に強い関心を持ち、文化・教育・臨床心理に係る専門的な知識・技術・技能を用いて主体的に課題解決に取り組もうとする人。

〈博士後期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

国際文化研究科は、現代のグローバル化社会において文化・教育、臨床心理学の各領域で高度な専門性を生かして活躍できる人材の養成を行う。欧米文化、日本・アジア文化、臨床心理の諸研究・実践に必要な高度な知識と技術を涵養し、実証的・独創的研究及び高度専門職としての実践に必要な優れた能力を育成する。世界や日本の思想・文芸・歴史・心理等に関する深い理解に基づく、各研究分野に関する俯瞰的な知識体系の構築及び高度な研究能力のみならず、語学力を含めた高度なコミュニケーション能力と実践力を身につけさせる。各研究分野で、研究者や高度専門職として自立し、優れた成果を上げるために必要とされる能力を身につけさせる。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

国際文化研究科は、次の幅広い知識・技能、研究・開発における遂行力をもった国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的かつ総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 世界や日本の文化及び人間心理に旺盛な探究心を持ち、高度な研究活動を通して成果を上げることに強い意志のある人。
2. 指導的な研究者や実践家の立場で、持続可能な社会の発展に積極的に貢献しようとする意志のある人。
3. 国際社会や地域社会の課題に取り組む探求心があり、課題解決のために、高度なコミュニケーション能力と実践力を含む専門的な知識・技能、研究・開発における遂行力を活用しようとする人。

経済・ビジネス研究科

〈博士前期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

博士前期課程には、経済学専攻と現代ビジネス専攻の2専攻を設置している。経済学専攻では、経済理論の研究や実証分析、経済史の研究など多様なカリキュラムを準備し、各種資格取得やエコノミストの育成などを目標としている。現代ビジネス専攻では、経営理論、会計及び国際ビジネスなどの豊富なカリキュラムを準備して、各種資格取得やスペシャリストの育成などを目標としている。

《経済学専攻》

経済学専攻は、経済分野と地域づくり分野とからなる。経済分野は経済理論、経済・経営史、経済政策などの科目で構成しており、高度な専門知識と研究能力を持った優秀な人材を育成する。地域づくり分野は地域学、地域政策などの科目で構成しており、地域振興・組織運営のための高度な専門知識と研究能力を持った優秀な人材を育成する。

《現代ビジネス専攻》

現代ビジネス専攻は、ビジネス・会計・観光分野とマネジメント分野とからなる。ビジネス・会計・観光分野はビジネスにおける競争優位の実現を担い、さらに実務能力の向上と理論の進化を図る会計業務に通じたビジネスパーソンを育成する。マネジメント分野は事業経営・ヒト・モノ・カネ・情報について問題発見と課題解決能力を持った事業家・経営者・研究者を養成する。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

博士前期課程は、次の各専攻に関する知識・能力・意欲を持った国内外の人材として、本学の卒業生のみならず、他大学からの進学者、社会人、留学生から、専門的な知識や研究意欲を多角的に評価し、入学者選抜を行う。

《経済学専攻》

1. 経済・地域への関心とその基礎的知識を持っている人。
2. 経済・地域に関する研究を通じて高度な専門知識とその実践的応用能力を身につけようとする意欲のある人。
3. 修了後、関連分野において指導的役割を果たすことを希望する人。

《現代ビジネス専攻》

1. コマース・マネジメントへの関心とその基礎的知識を持っている人。
2. コマース・マネジメントに関する研究を通じて高度な専門知識とその実践的応用能力を身につけようとする意欲のある人。
3. 修了後、関連分野において指導的役割を果たすことを希望する人。

〈博士後期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

経済・ビジネス専攻では、経済学とビジネスの分野を相互に補うカリキュラムで、現代のニーズに応えることのできる人材を育成する。博士前期課程での専門知識をさらに深め、高度な専門職に資する優秀な研究者や教育者などの育成を目指している。経済学と現代ビジネスの分野で、豊かな学識に基づく高度な専門性と自立して研究活動を行える能力を持ち、社会の各方面で指導的役割を担える高度専門職及び研究・教育職を養成する。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

博士後期課程は、次の知識・能力・意欲、研究等における遂行力を持った国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的かつ総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 経済・コマーс・マネジメントへの関心とその深い専門的な知識を持っている人。
2. 経済・コマーс・マネジメントに関する研究を通じてより最先端の知識とその実践的応用能力を身につけようとする意欲のある人。
3. 修了後、関連分野において研究者として、あるいは専門的職業人として主導的役割を果たすことを希望する人。

情報科学研究科

〈博士前期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

「社会と人間のための IT (情報技術)」を教育研究の理念とし、データサイエンス・人工知能、IoT・セキュリティを含む情報科学・情報技術を基礎から応用まで深く修得し、高度情報社会の諸問題に対応できる高度専門職業人及び研究開発者の養成を目指している。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

次の知識・能力・意欲をもった国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 情報科学・情報技術に関する基礎知識を身につけている人。
2. 英語や日本語によるコミュニケーション力を有する人。
3. 高度情報社会を支える強い意欲のある人。

情報分野の学部教育を受けてきた従来型の進学者のみならず、情報分野以外の学部教育を受けてきた進学者や企業技術者、中等初等教育担当者、高等教育機関の教職員も積極的に受け入れる。

〈博士後期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

「社会と人間のための IT (情報技術)」を教育研究の理念とし、高度情報社会の発展を担い、研究者として自立して研究活動を行うために必要な高度の研究開発能力や問題解決能力を持つ高度専門職業人及び研究開発者の養成を目指している。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

次の幅広い知識・技能、研究・開発における遂行力を持った国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的かつ総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 情報科学・情報技術の基礎から応用までの広範な知識と能力を有する人。
2. 研究対象に対する旺盛な探求心と研究遂行に強い意志を持つ人。
3. 国際社会や地域社会の課題に取り組むために必要な高度で専門的な知識・技能、研究・開発における遂行力を活用しようとする人。

博士前期課程からの進学者のみならず企業等の研究開発機関で現在活躍している中堅研究開発者も積極的に受け入れる。

工学研究科

〈博士前期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

建学の理想である「産学一如」の実現を目指し、地域、社会及び産業界の要請に対応する人材を輩出すべく、物事を総合的な観点からとらえ、持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けた取り組みを実施し、その発展に貢献できる産業技術を創出、展開できる心身共に健全な人間教育の実践に努めている。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

工学研究科では、次の知識・能力・意欲を持った国内外の人材として、本学の卒業生のみならず、他大学からの進学者、社会人、留学生から、専門的な知識や研究意欲を多角的に評価し、入学者選抜を行う。

1. ものづくりの基本となる理数系科目の学力を有する人。
2. 身につけた学識を SDGs 達成に向けたグローバルかつユニバーサルな取り組み及び社会や産業界において発揮することについて強い意欲を持つ人。
3. 国際社会や地域社会の課題に強い関心を持ち、専門的な知識・技術・技能を用いて主体的に課題解決に取り組み、目的意識を持って時代を切り開く意志を持つ人。

〈博士後期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

工学の専門分野における高度な研究開発能力もしくは大学(大学院を含む)の教育課程において専門教育を担う能力を身につけた人材を輩出すべく、研究対象に対する旺盛な探究心と研究遂行に強い意志を有する心身共に健全な人間教育の実践に努めている。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

工学研究科では、次の幅広い知識・技能、研究・開発における遂行力を持った国内外の人材から、専門的な知識や研究意欲を多角的かつ総合的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 先駆的かつ高度で専門的な工学の研究を目指すにふさわしい基礎的な研究能力を持つ人。
2. 研究対象に対する旺盛な探究心と研究遂行に強い意志を有する人。
3. SDGs 達成に向けた国際的かつ普遍的な課題に取り組みながら、社会や産業界における実践的な活動の経験に立ち、真理を探究する強い意志を有する人。

芸術研究科

〈博士後期課程〉

【人材養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的】

芸術研究科では、21世紀の知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材など、多様化する社会に応えられる有為な人材を養成することを目的としている。博士後期課程は、現代及び未来の芸術文化を担う高次元の研究者や教育者、アーティストやクリエイター、デザイナー、プロデューサーなどの養成を目標に、高度な芸術研究を行う。

（入学者の受け入れ方針：アドミッション・ポリシー）

芸術研究科では、芸術諸領域における知識・技術・技能、研究創作や研究開発等の遂行力を持った国内外の人材から、専門的な知識・技術・技能や研究意欲を多角的に評価し、入学者選抜を行う。

1. 高次元のアーティストやデザイナー、研究者等としての能力に優れ、将来の芸術文化を担う強い意思のある人。
2. 指導的な立場で、21世紀の多様化する社会の要求に芸術の分野で応える志のある人。
3. 国際社会や地域社会の課題に芸術的視点から取り組む探究心があり、課題解決のために高度で専門的な知識・技術・技能、研究創作や研究開発等の遂行力を活用しようとする人。

目 次

博士前期課程

1. 募集研究科及び募集人員・入試日程	1
2. 試験会場	1
3. 出願資格	1
4. 出願手続	2～3
5. 選抜方法	4～6
6. 合格発表	7
7. 入学手続	7
8. 各研究科の概要(授業科目及び教員組織、履修方法等)	
全研究科共通科目	8
国際文化研究科(国際文化研究分野)	9～11
経済・ビジネス研究科	12～18
情報科学研究科	19～21
工学研究科	22～29

博士後期課程

1. 募集研究科及び募集人員・入試日程	30
2. 試験会場	30
3. 出願資格	30
4. 出願手続	31～32
5. 選抜方法	33～34
6. 合格発表	35
7. 入学手続	35
8. 各研究科の概要(授業科目及び教員組織、履修方法等)	
国際文化研究科(国際文化研究分野)	36
経済・ビジネス研究科	37～38
情報科学研究科	39～40
工学研究科	41～43
芸術研究科	44～45
入学資格審査	46
教育方法の特例による教育について	47
入学金・修学費及び委託徴収金	48～49
個人情報の取り扱いについて	50
出願書類等	

博士前期課程

1. 募集研究科及び募集人員・入試日程

研究科	専攻(分野)	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
国際文化研究科	国際文化専攻 (国際文化研究分野)	若干名	令和6年 6月17日(月)～ 6月24日(月)	令和6年 7月6日(土)	令和6年 7月26日(金)
経済・ビジネス研究科	経済学専攻 現代ビジネス専攻				
情報科学研究科	情報科学専攻				
工学研究科	産業技術デザイン専攻				

※一般・社会人・外国人留学生入学試験を行う。

2. 試験会場

試験会場(教室等)については、別途通知する。

3. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び令和6年8月卒業見込みの者。
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和6年8月授与見込みの者。
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年8月修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年8月修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年8月修了見込みの者。
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和6年8月修了見込みの者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和6年8月までに22歳に達する者。

(注) 上記の(8)により出願を希望する者については、入学資格審査を行う。巻末の「入学資格審査」を参照すること。

一般入試

上記の(1)～(8)のいずれかに該当する者

社会人入試

[国際文化研究科、経済・ビジネス研究科]

上記の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、令和6年8月までに実務経験を2年以上有する者、又は大学卒業後、社会人となり2年以上経過する者。

[情報科学研究科]

上記の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、令和6年8月までに実務経験を2年以上有する者。

[工学研究科]

上記の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、令和6年8月までに社会人として1年以上の経験を有する者。

外国人留学生入試

上記の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、入学後、法に定める「留学」の在留資格を取得又はこれに変更できる者

(注) 日本国内の大学を卒業(卒業見込みを含む)した外国人留学生は、一般入試を受験すること。

4. 出願手続

(1) 出願書類

提出書類	注意事項
① 入学志願書・受験票 履歴書(裏) [本大学院所定用紙 様式1]	本学所定用紙に必要事項を記入し、写真を貼付したもの。 ・ ※印欄は、記入しないこと。 ・ ○の箇所は、いずれかを囲んでおくこと。 ・ 本学卒業または修了(見込)者は、学籍番号を記入すること。 ・ 受験科目欄は、筆記試験の選択科目について、選択し記入すること。 出願後の科目変更は認めない。 ・ 研究指導教員及び志望演習(研究)科目は、「各研究科の概要」の教員組織を参照し、担当者氏名の前に○印が付されている教員名を記入すること。 ・ 研究指導を志望(第一志望)する担当教員との研究計画等についての事前確認を必ず行い、○を付けること。 ・ 経済・ビジネス研究科に出願する場合は、「各研究科の概要」の履修方法を参照し、希望するコースを志願研究科欄に記入すること。 ・ 外国人志願者が履歴を記載する際は、小学校入学から現在に至るまで空白期間がないように記入すること。 ・ 一般及び社会人志願者が履歴を記載する際は、高等学校卒業相当から現在に至るまで、空白期間がないように記入すること。なお、社会人志願者は職歴も詳しく記入すること。 ・ 学歴を記載する際は、学部、学科名まで記入すること。
② 志望理由・研究希望等調査書 [本大学院所定用紙 様式2]	・ ※印欄は、記入しないこと。
③ 研究計画書 [本大学院所定用紙 様式3] 全研究科(社会人のみ) 情報科学研究科	・ ※印欄は、記入しないこと。 ・ 研究計画の概要(研究目的・研究方法等について)を1,000字以内(英語の場合は300words以内)で、作成すること。 ・ 書類を記入する際は、HP上から様式をダウンロードしてください。 ・ 本学情報科学科出身者で情報科学研究科を志願する者は、不要とする。
④ 卒業論文要旨又は卒業設計 (工学研究科Ⅱ類のみ) 卒業研究要旨又は卒業論文 (情報科学研究科Ⅱ類のみ)	A 4 2枚程度 ・ 受験区分のⅡ類を選択する者は、卒業論文要旨又は、卒業設計(コピー可)(工学研究科)、卒業研究要旨又は、卒業論文(コピー可)(情報科学研究科)を願書と共に提出すること。
⑤ 英語能力を証明する書類 (工学研究科電気情報技術分野で英語試験をスコアで評価する者のみ)	・ TOEIC L&RまたはTOEFL iBTのスコア証明書の写し(コピー) ・ ※但し、試験当日に原本持参 ・ スコア有効期間は、入学試験実施日から遡って2年以内に受験したものに限る ・ 英語筆記試験の受験も可。受験をする者は、願書提出時に大学院事務室に連絡すること。 受験した場合は、筆記試験とスコアで点数の高い方を評価の対象とする。
⑥ 卒業(見込)証明書	出身大学長等が発行したもの。(出願前3ヵ月以内のもの) ・ 卒業証明書等及び成績証明書の発行を行わない外国の大学を卒業した者は、原本を出願時に提示すること。 ・ 日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。 ・ 現在の氏名と証明書記載の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改氏名を証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。
⑦ 成績証明書	
⑧ 推薦書 ※任意提出 (社会人のみ)	官公庁及び企業等の所属長が作成したもの。 ・ 様式随意
⑨ 日本語能力証明書 [本大学院所定用紙 様式4] (外国人のみ)	・ 日本政府の在外公館員、交流協会および日本語教師等適当な人に記入を依頼すること。 (本学卒業(見込)者は、不要)
⑩ 住民票 又は 公的機関が発行した国籍 を証明する書類 (外国人のみ)	・ 日本国内からの出願者は、区役所(市町村役場)から在留資格及び在留期間が記載されている住民票(出願前3ヵ月以内のもの)を提出すること。 ・ 日本国外からの出願者は、公的機関が発行した国籍を証明する書類を提出すること。 (パスポートのコピーでも可)
⑪ 健康診断書 [本大学院所定用紙 様式8]	出願前3ヵ月以内に受診し作成されたもの。診断書作成の医師については指定しない。 ・ 出願時の年度内に、学校・職場等で健康診断を受診した者については、その証明書(健康診断結果が明記され、学校長または所属長の証明印があるもの)で代えることができる。
⑫ 通知用ラベル [本大学院所定用紙]	通知用ラベルの留意事項を参照。

※証明書等の写し(コピー)は、受け付けない。

※日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。

(2) 出願上の注意

- ① **志願者は、出願前に、研究計画等について、研究指導を志望する担当教員と必ず話し合うこと。**
- ② 出願書類は、本大学院所定の出願用封筒に出願書類を取り揃えて不備のないように出願すること。
- ③ 出願書類は、特に指定がない限り、本人が日本語でペン又はボールペンをうい正確に記入すること。
- ④ 出願書類は、本学に持参することが望ましいが、都合により郵送する場合は、簡易書留郵便とし、締切日までに必着のこと。
- ⑤ **出願書類提出後は、志望研究科・専攻・コース・研究指導教員等の変更は一切認めない。**
- ⑥ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類の返還請求には応じない。
- ⑦ 受験に際し、疾病や障がい等のために受験上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、大学院事務室までご相談ください。ご相談の内容は受験上の配慮について確認するものであり、可否判定とは一切関係ありません。ご相談がない場合や内容によっては、配慮できないこともあります。

(3) 入学検定料

- ① 一般入試、社会人入試： 本学卒業(見込)者(外国人留学生を含む)の出願者は、16,000円とする。
- ② 一般入試、社会人入試： 他大学卒業(見込)者及び日本国内の他大学を卒業した(卒業見込みを含む)外国人留学生の出願者は、32,000円とする。
- ③ 外国人留学生入試： 外国人留学生の出願者は、30,000円とする。

[入学検定料の支払い方法]

本大学院所定の郵便振替払込用紙により、最寄りの郵便局で払い込みを行い、「郵便振替払込受付証明書」を入学志願書の裏面に貼付すること。

(4) 願書受付時間・場所

- ① 受付時間
9時から16時まで(平日の11時20分から12時20分及び土日、祝祭日は除く)
- ② 受付場所及び問い合わせ先
九州産業大学教務部大学院事務室(九州産業大学内1号館1階)
電話 (092)673-5596

(5) 受験上の注意

試験開始後、20分以上遅刻した者は、受験することができない。

(6) 受験票の送付

出願手続き完了者には、願書受付期間後、本人宛に受験票を送付する。

5. 選抜方法

○入学者の選抜は、筆記試験・口述試験等の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

(1) 試験科目・試験時間

5-1. 一般入試

●国際文化研究科

専攻	分野	筆記試験		口述試験
		外国語・漢文	専門科目	
		9:00～10:30	11:00～12:30	
国際文化専攻	国際文化研究分野	一般入試	外国人留学生入試	主に希望する専攻分野について試問
		英語	英語	
		韓国語	韓国語	
		中国語	中国語	
		漢文	漢文	
		のうから 1科目選択	日本語 のうから 1科目選択	
(注) [1]外国語・漢文について、辞書(一冊)の使用を認める。(電子的辞書は不可) [2]外国人留学生の外国語は、母語では受験できない。 [3]志願者は、出願の際に選択する外国語・漢文及び専門科目(希望する専攻分野より1科目選択)を志願書に記入すること。なお選択した科目は試験会場において変更できない。				

●経済・ビジネス研究科

(専修コース)

専攻	分野	筆記試験	口述試験
		10:00～11:30	12:30～
経済学専攻	経済分野	小論文 (志望専門科目)	研究希望等調査書に基づいて行う
	地域づくり分野		
現代ビジネス専攻	ビジネス・会計・観光分野 マネジメント分野		

(研究者養成コース)

専攻	分野	筆記試験		口述試験
		小論文	英語	
		10:00～11:30	12:00～13:30	14:00～
経済学専攻	経済分野	志望専門科目	辞書一冊持ち込み可。 ただし電子的辞書は不可。	研究希望等調査書に基づいて行う
	地域づくり分野			
現代ビジネス専攻	ビジネス・会計・観光分野 マネジメント分野			

●情報科学研究科

I 類又は、II 類いずれかを選択し受験すること。

I 類

専攻	10:00～11:00	11:30～12:30	14:00～
情報科学専攻	英語	情報科学基礎 「微分積分学」、「線形代数学」、 「離散数学」、「データ構造とアル ゴリズム」の4科目から1科目を申請 し受験。	口述試験
(注) [1] 英語は、辞書(一冊)の持ち込み可。ただし、電子的辞書の持ち込みは不可。 [2] 出願時に申請した科目については、試験会場に変更不可。			

II 類

II 類の受験者は、卒業研究要旨(A4 2枚程度)又は、卒業論文(コピー可)を願書と共に提出すること。

専攻	10:00～11:00	11:30～	14:00～
情報科学専攻	英語	情報科学基礎 (卒業研究成果等に関連する プレゼンテーション)	口述試験
(注) 英語は、辞書(一冊)の持ち込み可。ただし、電子的辞書の持ち込みは不可。			

●工学研究科

各分野共に、Ⅰ類又は、Ⅱ類いずれかを選択し受験すること。

Ⅰ類

分野	10:00～12:00	13:00～14:00	筆記試験終了後
機械システム分野	材料力学、熱力学、流体力学、機械工作、機械設計、機械力学、 制御工学、工業数学 ＜8科目から3科目を申請し受験。電卓持ち込み可＞	英語	口述試験
電気情報技術分野	電気回路・電磁気学 ＜関数電卓持ち込み可＞		
物質生命化学分野	無機化学、環境化学、物理化学、有機化学、分子生物学、高分子材料、 生化学、微生物工学、ケミカルバイオロジー、植物学、食品衛生学、 食品栄養学、食品分析学、生体工学 ＜14科目から3科目を申請し受験。電卓持ち込み可＞		
土木デザイン分野	構造力学、都市防災学、地盤工学、建設材料学、水工学、 景観デザイン、応用生態学、海岸港湾工学 ＜8科目から3科目を申請し受験。電卓持ち込み可＞		
建築デザイン分野	建築構造工学(構造力学、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、材料・ 施工、防災工学)、建築計画学(計画、歴史、意匠)、建築環境工学 (環境工学、設備) ＜3科目から研究内容に対応する1科目を申請し受験。電卓持ち込み可＞ (出題範囲:括弧内に示す)		
(注) [1] 英語は、辞書(一冊)の持ち込み可。ただし、電子的辞書の持ち込みは不可。 [2] 電気情報技術分野の英語は、TOEIC L&RまたはTOEFL iBTのスコア提出者も受験可能。 [3] 出願時に申請した科目については、試験会場で変更できない。			

Ⅱ類

Ⅱ類の受験者は、卒業論文要旨(A4 2枚程度)又は、卒業設計(コピー可)を願書と共に提出すること。

分野	10:00～12:00	13:00～14:00	筆記試験終了後
機械システム分野	・口述試験 (卒業研究成果等に関連するプレゼンテーション)	英語	口述試験
電気情報技術分野			
物質生命化学分野			
土木デザイン分野			
建築デザイン分野			
(注) [1] 英語は、辞書(一冊)の持ち込み可。ただし、電子的辞書の持ち込みは不可。 [2] 電気情報技術分野の英語は、TOEIC L&RまたはTOEFL iBTのスコア提出者も受験可能。			

5-2. 社会人入試

●国際文化研究科

専攻	分野	13:00～
国際文化専攻	国際文化 研究分野	口述試験

●経済・ビジネス研究科

専攻	分野	口述試験 13:00～
		研究希望等調査書に基づいて行う
経済学専攻	経済分野	
現代ビジネス専攻	地域づくり分野	
	ビジネス・会計・観光分野 マネジメント分野	

●情報科学研究科

専攻	10:00～
情報科学専攻	口述試験

●工学研究科

専攻	14:00～
産業技術デザイン 専攻	口述試験

5-3. 外国人留学生入試

●国際文化研究科、情報科学研究科

一般入試と同様に行う。

●経済・ビジネス研究科

専攻	分野	筆記試験	口述試験
		10:00～11:30	12:30～
経済学専攻	経済分野	小論文 (志望専門科目)	研究希望等調査書に基づいて行う
	地域づくり分野		
現代ビジネス専攻	ビジネス・会計・観光分野 マネジメント分野		

●工学研究科

専攻	13:00～
産業技術デザイン 専攻	①口述試験 ②学科試験(筆記または口頭)

6. 合格発表

- (1) 合格発表当日、午前10時に本学ホームページで公示するとともに、受験者に対しては通知文書を発送する。
(注) 可否に関する問い合わせには、一切応じない。

7. 入学手続

合格者は、指定された期日までに諸手続を終えなければならない。期日内に手続きを完了しないときは、入学を辞退したものと取り扱う。

- (1) 入学金及び修学費等納付金(入学金・修学費及び委託徴収金の納付方法は分納とする)
入学金及び修学費等納付金第1回納付額(48ページ)については、令和6年8月19日(月)15時までに、銀行窓口で納付すること。
- (2) 入学手続書類
入学手続書類については、令和6年8月19日(月)16時までに、本学教務部大学院事務室に提出すること。
- (3) 中国の大学卒業者の入学手続に関する付記
中国の大学卒業者は、以下のとおり中国教育部学位与研究生教育发展中心(以下“CDGDC”と略)において、大学卒業に関する認証報告書手続きを行ってください。
1. CDGDCのホームページ「<http://www.cdgdc.edu.cn/>」に登録。
 2. 学位認証に関する内容を確認。
 3. インターネット用申込書に各項目を入力し、確認の上、オンラインで送信して申請。
 4. CDGDCのホームページで認証申請手続き後、電子メールで届いた「認証報告書」を出力。
 5. 出力した「認証報告書」を入学手続き書類と共に大学院事務室へ提出。

8. 各研究科の概要(授業科目及び教員組織、履修方法等)

全研究科共通科目	8
国際文化研究科(国際文化研究分野)	9～11
経済・ビジネス研究科	12～18
情報科学研究科	19～21
工学研究科	22～29

(注) 教員組織は、令和6年5月現在に基づくものであり、研究指導教員が担当する演習(研究)科目は、募集を取り止める場合があります。

講義概要(シラバス)はWeb上で閲覧できます

次のアドレスよりログインして下さい。

<http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/publication/index.html>

全研究科

○ 授業科目及び教員組織（令和6年5月現在）

博士前期課程

区 分	授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
		1年	2年			
全 研 究 科 共 通 科 目	英語プレゼンテーション特論	2		教 授	Ph.D.	三 浦 香 織
	英語ディスカッション特論 (Critical Topics)	2		准 教 授	Ph.D.	BOVEE, Nicholas
	基盤能力特論	2		教 授	博士 (学術)	大 方 優 子
				准 教 授	博士 (理学)	石 田 俊 一
				兼 任 講 師 (新潟国際情報大学教授)	博士 (商学)	高 井 透
	プロジェクト実践演習A	2		教 授	商学博士	安 熙 卓
				教 授	博士 (工学)	稲 永 健太郎
				教 授	博士 (工学)	牛 見 宣 博
				教 授	博士 (学術)	大 方 優 子
				教 授	博士 (経済学)	澤 田 英 司
				准 教 授		岩 田 敦 之
				准 教 授		佐 藤 昭 則
	プロジェクト実践演習B	2		教 授	商学博士	安 熙 卓
				教 授	博士 (工学)	稲 永 健太郎
				教 授	博士 (工学)	牛 見 宣 博
				教 授	博士 (学術)	大 方 優 子
				教 授	博士 (経済学)	澤 田 英 司
				准 教 授		岩 田 敦 之
				准 教 授		佐 藤 昭 則
	プロジェクト実践演習C	4		教 授	商学博士	安 熙 卓
				教 授	博士 (工学)	稲 永 健太郎
				教 授	博士 (工学)	牛 見 宣 博
				教 授	博士 (学術)	大 方 優 子
				教 授	博士 (経済学)	澤 田 英 司
				准 教 授		岩 田 敦 之
				准 教 授		佐 藤 昭 則
	生徒指導・進路指導特論	2		教 授		高 松 勝 也
	学校心理学特論	2		教 授		高 松 勝 也

国際文化研究科(国際文化研究分野)

○ 授業科目及び教員組織 (令和6年5月現在)

国際文化専攻 博士前期課程

○ 研究指導教員

区 分	授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者
		1年	2年		
共通科目	英語文献リーディングⅠ	2		教授 河野 賢司	Ph.D. 三浦 香織
	英語文献リーディングⅡ	2		教授 河野 賢司	Ph.D. 三浦 香織
	英語プレゼンテーションⅠ	2		教授 三浦 香織	Ph.D. CARTER, Peter
	英語プレゼンテーションⅡ	2		教授 三浦 香織	Ph.D. CARTER, Peter
国際文化研究分野	国際文化研究演習Ⅰ	4		教授 博士(文学)	○ 呉 紅 華
				教授 博士(文学)	○ 辛 島 美 絵
				教授 博士(学術)	○ 酒 井 順 一 郎
				教授 博士(文学)	○ 末 松 剛
				教授 博士(歴史民俗資料学)	○ 須 永 敬
				教授 博士(学術)	○ 河 野 賢 司
				教授 博士(文学)	○ 片 桐 康 宏
				教授 博士(哲学)	○ 志 水 智 子
				教授 博士(教育学)	○ 藤 田 尚 志
				教授 Ph.D.	○ 松 原 岳 行
				教授 博士(文学)	○ 三 浦 香 織
				教授 博士(文学)	○ 宮 崎 裕 子
	国際文化研究演習Ⅱ	4		教授 博士(文学)	○ 李 泰 勲
				教授 博士(文学)	○ 呉 紅 華
				教授 博士(学術)	○ 辛 島 美 絵
				教授 博士(文学)	○ 酒 井 順 一 郎
				教授 博士(歴史民俗資料学)	○ 末 松 剛
				教授 博士(学術)	○ 須 永 敬
				教授 博士(文学)	○ 河 野 賢 司
				教授 博士(学術)	○ 片 桐 康 宏
				教授 博士(哲学)	○ 志 水 智 子
				教授 博士(教育学)	○ 藤 田 尚 志
				教授 Ph.D.	○ 松 原 岳 行
				教授 博士(文学)	○ 三 浦 香 織
分野	日本・アジア歴史研究(日本前近代史)	4		教授 博士(文学)	○ 宮 崎 裕 子
	日本・アジア歴史研究(アジア民族問題・歴史)	4		教授 博士(文学)	○ 李 泰 勲
	日本・アジア歴史研究(東アジア交流史)	4		教授 博士(文学)	○ 内 田 直 文
	日本・アジア文学研究(日本中古文)	4		教授 博士(文学)	○ 末 松 剛
	日本・アジア文学研究(日本近世文学)	4		教授 博士(文学)	○ 宮 崎 裕 子
	日本・アジア文学研究(日本近代文学)	4		教授 博士(文学)	(未 定)
	日本・アジア文学研究(中国語文学)	4		教授 博士(文学)	(未 定)
	日本・アジア文学研究(朝鮮近代文学)	4		教授 博士(文学)	○ 呉 紅 華

区 分	授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
		1年	2年			
国 際 文 化 研 究 分 野	日本・アジア言語研究(中世日本語論)	4		教 授	博士(文学)	辛 島 美 絵
	日本・アジア言語研究(韓国語論)	4				(未 定)
	日本・アジア総合研究(日本語教育史)	4		教 授	博士(学術)	酒 井 順 一 郎
	日本・アジア総合研究(教育文化交流史)	4		教 授	博士(学術)	酒 井 順 一 郎
	日本・アジア総合研究(東アジア文化論)	4		教 授	博士(文学)	李 泰 勲
	日本・アジア総合研究(民俗学)	4		教 授	博士(歴史民俗資料学)	須 永 敬
	アジア言語文献読解Ⅰ	2		教 授	博士(文学)	呉 紅 華
				教 授	博士(文学)	李 泰 勲
	アジア言語文献読解Ⅱ	2		教 授	博士(文学)	呉 紅 華
				教 授	博士(文学)	李 泰 勲
	欧米文学研究(英米文学)	4		教 授	博士(文学)	志 水 智 子
	欧米文学研究(アイルランド文学)	4		教 授		河 野 賢 司
	欧米思想研究(ドイツ思想)	4		教 授	博士(教育学)	松 原 岳 行
	欧米思想研究(フランス思想)	4		教 授	博士(哲学)	藤 田 尚 志
	欧米総合研究(アメリカ歴史・政治研究)	4		教 授	博士(学術)	片 桐 康 宏
	欧米歴史研究(ヨーロッパ史)	4				(未 定)
	欧米言語研究(生成文法理論・統語論研究)	4		教 授	Ph.D.	三 浦 香 織
	欧米言語研究(教育学英語教授法)	4		教 授		CARTER, Peter
	欧米言語文献読解Ⅰ	2		教 授		河 野 賢 司
				教 授	博士(哲学)	藤 田 尚 志
				教 授	Ph.D.	三 浦 香 織
	欧米言語文献読解Ⅱ	2		教 授		河 野 賢 司
				教 授	博士(哲学)	藤 田 尚 志
				教 授	Ph.D.	三 浦 香 織
	教育学研究(学校・学級経営実践論)	4				(未 定)
	教育学研究(教育環境論)	4				(未 定)
	教育学研究(教育哲学)	4		教 授	博士(教育学)	松 原 岳 行
	教育学研究(教育史)	4				(未 定)
	生涯学習特論	2		特任教授	博士(文学)	緒 方 泉
	教育実践特論	2				(未 定)
	学校医療特論	2		特任教授	医学博士	村 谷 博 美
	学校発達心理学特論	2		准 教 授		命 婦 恭 子
	教育臨床心理学特論	2		教 授	博士(医学)	稲 田 尚 史
	教育心理アセスメント特論	2				(未 定)
	学校カウンセリング特論	2		教 授		高 松 勝 也
	教育心理アセスメント実習		2	教 授	博士(学術)	森 川 友 子
	学校カウンセリング実習		2			(未 定)

(注) 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。

○ 履修方法等

- ① 学生は、「研究演習」を担当する教員を研究指導教員とし、授業科目の選択、論文の作成及びその他研究全般について指導を受けるものとする。
- ② 学生は、2年以上在学し、以下の方法で所定の単位を修得するものとする。ただし、特に優れた業績をあげた者の在学期間は、1年以上在学すれば足りるものとする。
 - a. 「国際文化研究分野」
研究指導教員(以下「指導教員」という。)の演習科目8単位、講義科目4単位及び同一研究分野の講義科目12単位を含む講義科目16単位以上及び共通科目から2単位以上、合計30単位以上を修得するものとする。
なお、臨床心理学研究分野の必修科目及び選択必修科目E群の授業科目は履修できないものとする。
- ③ 全研究科共通科目を10単位を限度として修了に必要な単位に加えることができる。
- ④ 指導教員が教育上有益と認める場合は、他の大学院、専門職大学院、他研究科及び基礎となる学部の授業科目の履修を認めることができる。なお、修了に必要な単位として認定することができる単位は、4単位以内とし、前③の全研究科共通科目と合わせて10単位以内とする。

○ 授業科目及び教員組織（令和6年5月現在）

博士前期課程

○研究指導教員

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
基	基	経済理論特講	2		教 授 准 教 授	博士（経済学） 博士（経済学）	関 根 順 一 金 崎 雅 之
		経済・経営思想特講	2				（ 未 定 ）
		経済・経営史特講	2		教 授 教 授	博士（文学） 博士（経済学）	大 宅 明 美 加 藤 要 一
		経済政策特講	2		教 授 教 授 教 授 准 教 授	博士（経済学） 博士（理学） 博士（農学）	萱 沼 美 香 芳 賀 博 文 宮 野 俊 明 外 園 智 史
		国際経済特講	2		教 授 教 授 教 授	博士（経済学） 博士（経済学）	岡 本 哲 史 土 井 裕 美 中 原 生 子
		経済・経営統計特講	2		准 教 授 准 教 授	博士（農学） 博士（経済学）	外 園 智 史 黒 木 宏 一
		ファイナンス特講	2		教 授 准 教 授	博士（経営学） 博士（経済学）	船 岡 健 太 下 田 真 也
		地域学特講	2		教 授 教 授 准 教 授 講 師	博士（法学） 博士（商学） 博士（芸術工学）	宗 像 優 横 井 克 典 岡 田 希 世 佐 藤 忠 文
		地域づくり特講	2		教 授 准 教 授 准 教 授 講 師	博 士（工 学）	高 野 祥 一 真 木 圭 亮 行 平 真 也 瑞慶山 広 大
		観光学特講	2		教 授 教 授	博士（学術） 博士（社会学）	大 方 優 子 千 相 哲
礎	礎	地域観光特講	2		准 教 授		室 岡 祐 司
		会計学特講	2		教 授 教 授 教 授	博士（経済学） 博士（経営法）	浅 川 哲 郎 奥 菌 幸 彦 園 弘 子
		マーケティング特講	2		教 授 准 教 授	博士（知識科学） 博士（商学）	岩 永 洋 平 侯 聡 聡
		経営学特講	2		教 授 教 授 教 授	博士（経営学） 博士（学術） 経済学博士	郭 智 雄 西 村 香 織 文 言
		経営戦略特講	2		教 授 准 教 授	経済学博士 博士（経営学）	文 言 木 下 耕 二
		情報処理特講	2		教 授 准 教 授	博士（情報工学） Ph.D.	福 永 良 浩 BOVEE, Nicholas
		流通システム特講	2		准 教 授	博士（経済学）	魏 鍾 振
		租税法特講	2		教 授 准 教 授	博士（経済学） 博士（経営法） 博士（商学）	浅 川 哲 郎 堺 貴 晴
		ソーシャル・イノベーション特講	2				（ 未 定 ）
		インターンシップ	2		教 授 教 授 准 教 授	商学博士 博士（法学） 博士（工学）	安 熙 卓 宗 像 優 行 平 真 也
科	科	日本語経済特講	2				（ 未 定 ）
		日本語経営特講	2		教 授		牟 田 正 人

区 分			授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
				1年	2年			
専 門 科 目	経 済 科 目	研 究 科 目	経済理論研究	2		教 授	博士（経済学）	関 根 順 一
			政治経済学研究	2				（ 未 定 ）
			経済・社会思想研究	2				（ 未 定 ）
			日本経済史研究	2				（ 未 定 ）
			西洋経済史研究	2		教 授	博士（文学）	大 宅 明 美
			統計・計量研究	2		准 教 授 准 教 授	博士（農学） 博士（経済学）	外 園 智 史 黒 木 宏 一
			農業経済学研究	2		准 教 授	博士（農学）	外 園 智 史
			金融論研究	2		准 教 授	博士（経済学）	下 田 真 也
			財政学研究	2		教 授 准 教 授	博士（経済学）	宮 野 俊 明 金 崎 雅 之
			経済・社会政策研究	2		教 授 教 授	博士（経済学） 経済学博士	萱 沼 美 香 黄 完 晟
			国際・経済発展論研究	2		教 授 教 授	博士（経済学） 博士（経済学）	岡 本 哲 史 中 原 裕美子
			環境政策研究	2		教 授 教 授 教 授	博士（理学） 博士（法学） 博士（経済学）	芳 賀 博 文 宗 像 優 澤 田 英 司
			租税法研究	2		教 授	博士（経済学） 博士（経営法）	浅 川 哲 郎
		セ ミ ナ ー 科 目	経済理論セミナー	2		教 授	博士（経済学）	関 根 順 一
			政治経済学セミナー	2				（ 未 定 ）
			経済・社会思想セミナー	2				（ 未 定 ）
			日本経済史セミナー	2		教 授	博士（経済学）	加 藤 要 一
			西洋経済史セミナー	2		教 授	博士（文学）	大 宅 明 美
			統計・計量セミナー	2		准 教 授 准 教 授	博士（農学） 博士（経済学）	外 園 智 史 黒 木 宏 一
			農業経済学セミナー	2		准 教 授	博士（農学）	外 園 智 史
			金融論セミナー	2		准 教 授	博士（経済学）	下 田 真 也
			財政学セミナー	2		准 教 授	博士（経済学）	金 崎 雅 之
			経済・社会政策セミナー	2		教 授 教 授	博士（経済学） 経済学博士	萱 沼 美 香 黄 完 晟
			国際・経済発展論セミナー	2		教 授 教 授	博士（経済学） 博士（経済学）	岡 本 哲 史 中 原 裕美子
			環境政策セミナー	2		教 授 教 授 教 授	博士（理学） 博士（法学） 博士（経済学）	芳 賀 博 文 宗 像 優 澤 田 英 司
			租税法セミナー	2		教 授	博士（経済学） 博士（経営法）	浅 川 哲 郎

区 分			単 位		職 名	担 当 者		
			1年	2年				
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(経済学)	○ 浅 川 哲 郎	
					教 授	博士(経営法)	○ 大 宅 明 美	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(文学)	○ 岡 本 哲 史	
					教 授	博士(経済学)	○ 萱 沼 美 香	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(経済学)	○ 関 根 順 一	
					教 授	博士(経済学)	○ 中 原 裕美子	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(理学)	○ 芳 賀 博 文	
					教 授	経済学博士 ※	○ 黄 完 晟	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(経済学)	○ 澤 田 英 司	
					准 教 授	博士(経済学)	○ 金 崎 雅 之	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	准 教 授	博士(経済学)	○ 下 田 真 也	
					准 教 授	博士(農学)	○ 外 園 智 史	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(経済学)	○ 浅 川 哲 郎	
					教 授	博士(経営法)	○ 大 宅 明 美	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(文学)	○ 岡 本 哲 史	
					教 授	博士(経済学)	○ 萱 沼 美 香	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(経済学)	○ 関 根 順 一	
					教 授	博士(経済学)	○ 中 原 裕美子	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(理学)	○ 芳 賀 博 文	
					教 授	経済学博士 ※	○ 黄 完 晟	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	教 授	博士(経済学)	○ 澤 田 英 司	
					准 教 授	博士(経済学)	○ 金 崎 雅 之	
専 門 科 目	経 済 学	課 題 研 究 科 目		2	准 教 授	博士(経済学)	○ 下 田 真 也	
					准 教 授	博士(農学)	○ 外 園 智 史	

区 分			授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者
				1年	2年		
専 門 科 目	地 域 科 目	研 究 科 目	地域政策研究	2		教 授	博士(法学) 宗 像 優
			地域マネジメント研究	2		教 授 准 教 授	博士(公共政策学) 山 下 永 子 真 木 圭 亮
			地域産業研究	2		教 授 准 教 授	博 士(商 学) 横 井 克 典 博 士(工 学) 行 平 真 也
			地域社会研究	2		講 師	博 士(芸術工学) 佐 藤 忠 文
			地域法制研究	2		教 授 准 教 授 講 師	高 野 祥 一 岡 田 希世子 瑞慶山 広 大
		セ ミ ナ ー 科 目	地域政策セミナー	2		教 授	博士(法学) 宗 像 優
			地域マネジメントセミナー	2		教 授 准 教 授	博士(公共政策学) 山 下 永 子 真 木 圭 亮
			地域産業セミナー	2		教 授 准 教 授	博 士(商 学) 横 井 克 典 博 士(工 学) 行 平 真 也
			地域社会セミナー	2		講 師	博 士(芸術工学) 佐 藤 忠 文
			地域法制セミナー	2		教 授 准 教 授 講 師	高 野 祥 一 岡 田 希世子 瑞慶山 広 大
	目 野 分	課 題 研 究 科 目 ・ 演 習 科 目	地域づくり課題研究1 地域づくり演習1		2	教 授 教 授 教 授 准 教 授	博士(法学) ○ 宗 像 優 博士(公共政策学) ○ 山 下 永 子 博 士(商 学) ○ 横 井 克 典 ○ 高 野 祥 一 ○ 岡 田 希世子
			地域づくり課題研究2 地域づくり演習2		2	教 授 教 授 教 授 准 教 授	博士(法学) ○ 宗 像 優 博士(公共政策学) ○ 山 下 永 子 博 士(商 学) ○ 横 井 克 典 ○ 高 野 祥 一 ○ 岡 田 希世子

- (注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。
2. ※の教員は、残り任期の関係上、修了までの研究指導はできない。
※の教員を志望する際は、事前に大学院事務室に相談すること。

現代ビジネス専攻 博士前期課程

○研究指導教員

区 分			単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
専 門 科 目	ビ ジ ネ ス ・ 会 計 ・ 観 光	研 究 科 目	マーケティング研究	2	准 教 授	博士 (商学)	侯 聡 聡
			広告戦略研究	2	教 授	博士 (知識科学)	岩 永 洋 平
			流通システム研究	2	准 教 授	博士 (経済学)	魏 鍾 振
			リスクマネジメント研究	2			(未 定)
			観光学研究	2	教 授	博士 (学術)	大 方 優 子
			アジア観光研究	2	教 授	博士 (社会学)	千 相 哲
			観光産業研究	2	准 教 授		室 岡 祐 司
			ホスピタリティ・ビジネス研究	2			(未 定)
			財務会計研究	2	教 授		奥 菌 幸 彦
			原価管理研究	2	教 授	博士 (経済学) 博士 (経営法)	浅 川 哲 郎
			税務会計研究	2	准 教 授	博士 (商学)	堺 貴 晴
			会計情報システム研究	2			(未 定)
	セ ミ ナ ー	科 目	マーケティングセミナー	2	准 教 授	博士 (商学)	侯 聡 聡
			広告戦略セミナー	2	教 授	博士 (知識科学)	岩 永 洋 平
			流通システムセミナー	2	准 教 授	博士 (経済学)	魏 鍾 振
			リスクマネジメントセミナー	2			(未 定)
			観光学セミナー	2	教 授	博士 (学術)	大 方 優 子
			アジア観光セミナー	2	教 授	博士 (社会学)	千 相 哲
			観光産業セミナー	2	准 教 授		室 岡 祐 司
			ホスピタリティ・ビジネスセミナー	2			(未 定)
			財務会計セミナー	2	教 授		奥 菌 幸 彦
			原価管理セミナー	2	教 授	博士 (経済学) 博士 (経営法)	浅 川 哲 郎
			税務会計セミナー	2	准 教 授	博士 (商学)	堺 貴 晴
			会計情報システムセミナー	2			(未 定)
	分 野	課 題 研 究 科 目 ・ 演 習 科 目	現代ビジネス課題研究1 現代ビジネス演習1	2	教 授 教 授 教 授 准 教 授 准 教 授	博士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (商学)	○ 大 方 優 子 ○ 奥 菌 幸 彦 ○ 園 弘 子 ○ 魏 鍾 振 ○ 堺 貴 晴
			現代ビジネス課題研究2 現代ビジネス演習2	2	教 授 教 授 教 授 准 教 授	博士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (商学)	○ 大 方 優 子 ○ 奥 菌 幸 彦 ○ 園 弘 子 ○ 魏 鍾 振 ○ 堺 貴 晴

区 分			授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者		
				1年	2年				
専 門 科 目	マ ネ ジ ン ト 目 分 野	研 究 科 目	経営管理研究	2		教 授	経済学博士	文 言	
			企業財務研究	2		教 授 教 授 教 授	博士(経営学)	浦 野 倫 平 船 岡 健 太 牟 田 正 人	
		ネ ジ ン ト 目 分 野	人的資源管理研究	2		教 授	商学博士	安 熙 卓	
			国際経営研究	2		教 授		土 井 一 生	
		目 分 野	経営情報研究	2		教 授 教 授	理学博士 博士(情報工学)	孫 宏 傑 福 永 良 浩	
			国際・地域経営研究	2		教 授 兼 任 講 師 (新潟国際情報大学教授)	博士(経済学) 博士(商学)	中 原 裕美子 高 井 透	
		目 分 野	経営学研究	2		教 授	博士(学術)	西 村 香 織	
			経営戦略研究	2		准 教 授	博士(経営学)	木 下 耕 二	
		目 分 野	ビジネス・イノベーション研究	2				(未 定)	
			プロスポーツビジネス研究	2				(未 定)	
	メ ミ ン ト 目 分 野	セ ミ ナ ー	経営管理セミナー	2		教 授	経済学博士	文 言	
			企業財務セミナー	2		教 授 教 授		浦 野 倫 平 牟 田 正 人	
		目 分 野	人的資源管理セミナー	2		教 授	商学博士	安 熙 卓	
			国際経営セミナー	2		教 授		土 井 一 生	
		目 分 野	経営情報セミナー	2		教 授 教 授	理学博士 博士(情報工学)	孫 宏 傑 福 永 良 浩	
			国際・地域経営セミナー	2		教 授 兼 任 講 師 (新潟国際情報大学教授)	博士(経済学) 博士(商学)	中 原 裕美子 高 井 透	
		目 分 野	経営学セミナー	2		教 授	博士(学術)	西 村 香 織	
			経営戦略セミナー	2		准 教 授	博士(経営学)	木 下 耕 二	
		目 分 野	ビジネス・イノベーションセミナー	2				(未 定)	
			プロスポーツビジネスセミナー	2				(未 定)	
	目 分 野	課 題 研 究 科 目 ・ 演 習 科 目	マネジメント課題研究1 マネジメント演習1		2	教 授 教 授 教 授 教 授 准 教 授	商学博士 経済学博士 博士(学術) 博士(情報工学) 博士(経営学)	○ 安 熙 卓 ○ 土 井 一 生 ○ 文 言 ○ 西 村 香 織 ○ 福 永 良 浩 ○ 木 下 耕 二	
			マネジメント課題研究2 マネジメント演習2		2	教 授 教 授 教 授 教 授 准 教 授	商学博士 経済学博士 博士(学術) 博士(情報工学) 博士(経営学)	○ 安 熙 卓 ○ 土 井 一 生 ○ 文 言 ○ 西 村 香 織 ○ 福 永 良 浩 ○ 木 下 耕 二	

(注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。

○ 履修方法等

- ① 学生は、「専修コース」または「研究者養成コース」のいずれかを選択するものとする。
- ② 「専修コース」は課題研究の担当教員、「研究者養成コース」は演習の担当教員を主研究指導教員とし、授業科目の選択および課題研究報告書または学位論文の作成その他について指導を受けるものとする。
- ③ 「研究者養成コース」においては、原則として同一専攻内の演習担当教員1名を副研究指導教員とする。
- ④ 学生は、2年以上在学し、30単位以上修得するものとする。ただし、特に優れた業績をあげた者の在学期間は、1年以上在学すれば足りるものとする。
- ⑤ 修了に必要な30単位以上の修得は、以下のとおりとする。

a. 経済学専攻

コース	基礎科目		研究科目	セミナー科目	課題研究科目	演習科目	合計
	基礎科目	留学生科目					
専修コース	10～16単位以上	(2単位)	6単位以上	4単位以上	4単位	----	30単位以上
研究者養成コース	10～16単位以上	(2単位)	8単位以上	6単位以上	----	6単位	30単位以上

- ※1 基礎科目は、指定する科目を6単位以上修得しなければならない。
- ※2 外国人留学生は、留学生科目2単位以上を修得するものとする。なお、留学生科目2単位を基礎科目に読み替えることができる。
- ※3 専修コースの学生は、研究指導教員の研究科目2単位、セミナー科目2単位、及び課題研究4単位を修得するものとする。
- ※4 研究者養成コースの学生は、主研究指導教員の研究科目2単位、セミナー科目2単位、及び演習4単位、さらに副研究指導教員の研究科目2単位、セミナー科目2単位及び演習の2単位を修得するものとする。

b. 現代ビジネス専攻

コース	基礎科目		研究科目	セミナー科目	課題研究科目	演習科目	合計
	基礎科目	留学生科目					
専修コース	10～16単位以上	(2単位)	6単位以上	4単位以上	4単位	----	30単位以上
研究者養成コース	10～16単位以上	(2単位)	8単位以上	6単位以上	----	6単位	30単位以上

- ※1 基礎科目は、指定する科目を6単位以上修得しなければならない。
- ※2 外国人留学生は、留学生科目2単位以上を修得するものとする。なお、留学生科目2単位を基礎科目に読み替えることができる。
- ※3 専修コースの学生は、研究指導教員の研究科目2単位、セミナー科目2単位、及び課題研究4単位を修得するものとする。
- ※4 研究者養成コースの学生は、主研究指導教員の研究科目2単位、セミナー科目2単位、及び演習4単位、さらに副研究指導教員の研究科目2単位、セミナー科目2単位及び演習の2単位を修得するものとする。
- ⑥ 全研究科共通科目を10単位を限度として修了に必要な基礎科目又は研究科目の修得単位に加えることができる。
- ⑦ 研究科が教育上有益と認めるときは、他の大学院、専門職大学院の授業科目及び他研究科、他専攻並びに基礎となる学部の授業科目の履修を認めることができる。なお、修了に必要な基礎科目又は研究科目の単位として認定することができる単位は、前⑥の全研究科共通科目と合わせて10単位以内とする。
- ⑧ 学生は、所定の期日までに、修士論文または課題研究報告書を大学院事務室に提出するものとする。
- ⑨ その他授業科目の履修及び研究指導に関し必要な事項は、別に定める。

情報科学研究科

○ 授業科目及び教員組織（令和6年5月現在）

情報科学専攻 博士前期課程

○研究指導教員

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
データサイエンス・人工知能領域	選択科目	並列処理技術特論	2		教 授	博士（工学）	稲 永 健太郎
		生命情報学特論	2		教 授	博士（工学）	仲 隆
		アルゴリズムと計算量特論	2		教 授	博士（工学）	朝 廣 雄 一
		ソフトウェア工学特論	2		准 教 授	博士（工学）	于 海 波
		データ分析と情報管理特論	2		教 授	博士（情報学）	成 凱
		計画システム特論	2		教 授	博士（工学）	安 部 恵 介
		グループウェア特論	2				（ 未 定 ）
		ヒューマンコンピュータインタラクション特論	2		講 師	博士（情報工学）	前 田 誠
		VRと3DCGプログラミング特論	2		教 授	博士（情報科学）	合 志 和 晃
		コンピュータビジョンと機械学習特論	2		教 授	博士（工学）	米 元 聡
データサイエンス・人工知能領域	必修科目	情報科学セミナー	2		教 授	博士（工学）	稲 永 健太郎
					教 授	博士（工学）	仲 隆
					教 授	博士（工学）	朝 廣 雄 一
					教 授	博士（情報学）	成 凱
					教 授	博士（工学）	安 部 恵 介
					教 授	博士（情報科学）	合 志 和 晃
					教 授	博士（工学）	米 元 聡
					准 教 授	博士（工学）	于 海 波
		情報科学特別演習Ⅰ	4		教 授	博士（工学）	○ 稲 永 健太郎
					教 授	博士（工学）	○ 仲 隆
					教 授	博士（工学）	○ 朝 廣 雄 一
					教 授	博士（情報学）	○ 成 凱
					教 授	博士（工学）	○ 安 部 恵 介
					教 授	博士（情報科学）	○ 合 志 和 晃
					教 授	博士（工学）	○ 米 元 聡
					准 教 授	博士（工学）	○ 于 海 波
		情報科学特別演習Ⅱ	4		教 授	博士（工学）	○ 稲 永 健太郎
					教 授	博士（工学）	○ 仲 隆
					教 授	博士（工学）	○ 朝 廣 雄 一
					教 授	博士（情報学）	○ 成 凱
					教 授	博士（工学）	○ 安 部 恵 介
					教 授	博士（情報科学）	○ 合 志 和 晃
					教 授	博士（工学）	○ 米 元 聡
					准 教 授	博士（工学）	○ 于 海 波

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
I o T ・ セ キ ュ リ テ ィ 領 域 共 通	選 択 科 目	ハードウェア設計特論	2		教 授	博士(工学)	澤 田 直
		ネットワークコンピューティング特論	2				(未 定)
		VLSI設計特論	2		教 授	博士(工学)	田 中 康 一 郎
		自律分散協調システム特論	2		教 授	博士(情報工学)	安 武 芳 紘
		情報ネットワーク特論	2		教 授	博士(情報科学)	下 川 俊 彦
		通信システム特論	2		教 授	博士(工学)	石 田 健 一
		情報セキュリティ特論	2		准 教 授	博士(理学)	石 田 俊 一
		人安全管理特論	2				(未 定)
		人情報処理システム特論	2				(未 定)
	必 修 科 目	情報科学セミナー	2		教 授	博士(工学)	田 中 康 一 郎
					教 授	博士(情報科学)	下 川 俊 彦
					教 授	博士(工学)	石 田 健 一
					教 授	博士(情報工学)	安 武 芳 紘
					教 授	博士(工学)	澤 田 直
					准 教 授	博士(理学)	石 田 俊 一
		情報科学特別演習Ⅰ	4		教 授	博士(工学)	○ 田 中 康 一 郎
					教 授	博士(情報科学)	○ 下 川 俊 彦
					教 授	博士(工学)	○ 石 田 健 一
					教 授	博士(情報工学)	○ 安 武 芳 紘
					教 授	博士(工学)	○ 澤 田 直
					准 教 授	博士(理学)	○ 石 田 俊 一
		情報科学特別演習Ⅱ	4		教 授	博士(工学)	○ 田 中 康 一 郎
					教 授	博士(情報科学)	○ 下 川 俊 彦
					教 授	博士(工学)	○ 石 田 健 一
					教 授	博士(情報工学)	○ 安 武 芳 紘
					教 授	博士(工学)	○ 澤 田 直
					准 教 授	博士(理学)	○ 石 田 俊 一
通	科 選 目 択	産業実務実習	2		教 授	博士(工学)	安 部 恵 介
		情報数理特論	2		教 授 准 教 授	博士(工学) 博士(機能数理学)	石 田 健 一 渋 田 敬 史

(注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。

○ 履修方法等

- ① 学生は、一つの教育研究分野に所属し、特別演習担当の研究指導教員(以下「指導教員」という。)からセミナー、特別演習、学位論文の作成、その他研究全般について指導を受けるものとする。
- ② 学生は、2年以上在学し、所定の授業科目について、セミナー・演習科目10単位、専門科目20単位以上、合計30単位以上を修得するものとする。ただし、特に優れた研究業績を上げた認められた者の在学期間については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- ③ 全研究科共通科目を10単位を限度として修了に必要な専門科目の修得単位に加えることができる。
- ④ 研究科が教育上有益と認めるときは、他の大学院、専門職大学院及び学部の授業科目の履修を認めることができる。
なお、修了に必要な専門科目として認定することができる単位は、前③の全研究科共通科目と合わせて10単位以内とする。
- ⑤ 指導教員が教育上有益と認めるときは、研究科長会議の意見を聴取した上で他の大学院、専門職大学院又は研究所等において特別演習に関する必要な研究指導を受けることを認めることがある。
- ⑥ 学位論文は、所属する教育研究分野の特別演習について指導教員に提出するものとする。
- ⑦ 英文の総合報告を学位論文に代えることができる。

工学研究科

○ 授業科目及び教員組織（令和6年5月現在）

産業技術デザイン専攻 博士前期課程

○研究指導教員

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
機 械 シ ス テ ム 分 野	必修科目	機械システム特別研究Ⅰ	2		教授	工学博士	※○丘華
					教授	博士（工学）	※○藤崎渉
					教授	博士（工学）	○寺西高広
					教授	博士（工学）	○赤坂亮
					教授	博士（工学）	○松下大介
					教授	博士（工学）	○榊泰輔
					教授	博士（工学）	○鶴田和寛
					教授	博士（数理学）	※○濱田英隆
					教授	博士（工学）	○牛見宣博
					教授	博士（工学）	○村上剛司
	准教授	博士（工学）	○久保明雄				
	選択科目	機械システム特別演習Ⅰ	2		教授	工学博士	丘華
					教授	博士（工学）	藤崎渉
					教授	博士（工学）	寺西高広
					教授	博士（工学）	赤坂亮
					教授	博士（工学）	松下大介
					教授	博士（理学）	中村賢仁
					教授	博士（工学）	榊泰輔
					教授	博士（工学）	鶴田和寛
					教授	博士（数理学）	濱田英隆
					教授	博士（工学）	牛見宣博
					教授	博士（工学）	村上剛司
准教授					博士（工学）	久保明雄	
選択科目	機械システム特別演習Ⅱ	2		准教授	博士（工学）	村田光昭	
				講師	博士（工学）	福田翔	
				教授	工学博士	丘華	
				教授	博士（工学）	藤崎渉	
				教授	博士（工学）	寺西高広	
				教授	博士（工学）	赤坂亮	
				教授	博士（工学）	松下大介	
				教授	博士（理学）	中村賢仁	
				教授	博士（工学）	榊泰輔	
				教授	博士（工学）	鶴田和寛	
選択科目	材料力学特論Ⅰ	2		教授	博士（数理学）	濱田英隆	
				教授	博士（工学）	牛見宣博	
				教授	博士（工学）	村上剛司	
				准教授	博士（工学）	久保明雄	
				准教授	博士（工学）	村田光昭	
				講師	博士（工学）	福田翔	
				教授	博士（工学）	藤崎渉	
				教授	博士（工学）	寺西高広	
選択科目	応力解析学特論	2				（未定）	
						（未定）	
						（未定）	
						（未定）	

産業技術デザイン専攻 博士前期課程

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
機 械 シ ス テ ム 分 野	選 択 的 科 目	流体工学特論	2		教 授	博士(工学)	松 下 大 介
		熱工学特論	2		教 授	博士(工学)	赤 坂 亮
		機械工作特論	2		准 教 授	博士(工学)	久 保 明 雄
		精密工作特論	2		准 教 授	博士(工学)	村 田 光 昭
		機械設計特論	2		教 授	工学博士	丘 華
		エネルギー変換工学特論		2	教 授 講 師	博士(工学)	赤 坂 亮
						博士(工学)	福 田 翔
		数値解析特論	2		教 授	博士(理学)	中 村 賢 仁
		ロボティクス特論Ⅰ	2		教 授	博士(工学)	榊 泰 輔
		ロボティクス特論Ⅱ	2		教 授	博士(工学)	村 上 剛 司
		制御工学特論Ⅰ	2		教 授	博士(工学)	鶴 田 和 寛
		制御工学特論Ⅱ	2		教 授	博士(工学)	鶴 田 和 寛
		メカトロニクス特論	2		教 授	博士(工学)	牛 見 宣 博
		最適化理論特論		4			(未 定)
		数値計算法特論	4				(未 定)
		微分幾何学特論	4		教 授	博士(数理学)	濱 田 英 隆
		応用数学特論	4		教 授	博士(数理学)	濱 田 英 隆

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者					
			1年	2年							
電 気	必修科目	電気情報技術特別研究Ⅰ	2		教授 教授 教授 教授 准教授	博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(理学) 博士(工学) 博士(工学)	○ ○ ○ ○ ○ ○	今 竹 橋 西 小 松	坂 下 口 寄 倉 岡	公 達 卓 照 弘 剛	宣 也 平 和 毅 志
		電気情報技術特別研究Ⅱ		6	教授 教授 教授 教授 教授 准教授	博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(理学) 博士(工学) 博士(工学)	○ ○ ○ ○ ○ ○	今 竹 橋 西 小 松	坂 下 口 寄 倉 岡	公 達 卓 照 弘 剛	宣 也 平 和 毅 志
情 報	選択	電気情報技術特別演習Ⅰ	2		教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授	博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(理学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学)		今 竹 橋 西 小 阿 松 緒 鴈 末	坂 下 口 寄 倉 部 岡 方 野 吉	公 達 卓 照 弘 宜 剛 将 重 哲	宣 也 平 和 毅 輝 志 人 之 郎
		電気情報技術特別演習Ⅱ		2	教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授	博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(理学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学)		今 竹 橋 西 小 阿 松 緒 鴈 末	坂 下 口 寄 倉 部 岡 方 野 吉	公 達 卓 照 弘 宜 剛 将 重 哲	宣 也 平 和 毅 輝 志 人 之 郎
技 術	科目	電気エネルギー工学特論	2		教授	博士(工学)		今	坂	公	宣
		電気エネルギー環境基礎特論	2		教授	博士(工学)		橋	口	卓	平
		電磁気学特論	2		准教授	博士(工学)		鴈	野	重	之
		回路とシステム特論	2		准教授	博士(工学)		緒	方	将	人
		電気電子計測特論	2					(未定)			
		電子物性特論	2		教授	博士(工学)		西	寄	照	和
		エネルギー材料工学特論	2		准教授	博士(工学)		末	吉	哲	郎
		超伝導工学特論		2	教授 准教授	博士(工学) 博士(工学)		西 末	寄 吉	照 哲	和 郎
野	目	制御システム特論	2		教授	博士(工学)		橋	口	卓	平
		波動情報工学特論		2	准教授	博士(工学)		松	岡	剛	志
		デジタルシステム特論	2		准教授	博士(工学)		緒	方	将	人
		光通信工学特論	2		教授	博士(工学)		竹	下	達	也
		通信システム工学特論Ⅰ	2		教授	博士(工学)		阿	部	宜	輝
		通信システム工学特論Ⅱ	2		教授	博士(工学)		阿	部	宜	輝
		ソフトウェア基礎特論	2		准教授	博士(工学)		松	岡	剛	志
		パワーエレクトロニクス特論	2		教授	博士(工学)		小	倉	弘	毅

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者		
			1年	2年				
物 質 生 命 学	必修科目	物質生命化学特別研究Ⅰ	2		教授	博士(理学)	○	迎 勝 也
					教授	博士(工学)	○	磯 部 信一郎
					教授	博士(農学)	○	満 生 慎 二
					教授	理学博士	※○	木 山 亮 一
	教授				博士(生命科学)	○	高 橋 芳 弘	
	教授				博士(農学)	○	中 山 素 一	
	教授				博士(工学)	※○	中 原 由木子	
	准教授				博士(農学)	○	高 杉 美佳子	
	准教授				博士(工学)	○	藤 本 和 久	
	准教授	博士(工学)	○	中 尾 嘉 秀				
	准教授	博士(工学)	○	平 山 智 之				
	選択科目	バイオロボティクス特別研究Ⅰ	2		教授	博士(工学)	○	日 垣 秀 彦
物質生命化学特別研究Ⅱ			6	教授	博士(理学)	○	迎 勝 也	
				教授	博士(工学)	○	磯 部 信一郎	
				教授	博士(農学)	○	満 生 慎 二	
	教授			理学博士	※○	木 山 亮 一		
	教授			博士(生命科学)	○	高 橋 芳 弘		
	教授			博士(農学)	○	中 山 素 一		
	教授			博士(工学)	※○	中 原 由木子		
	准教授			博士(農学)	○	高 杉 美佳子		
	准教授			博士(工学)	○	藤 本 和 久		
准教授	博士(工学)	○	中 尾 嘉 秀					
准教授	博士(工学)	○	平 山 智 之					
化 学 分 野	選択科目	物質生命化学特別演習Ⅰ	2		教授	博士(理学)		迎 勝 也
					教授	博士(工学)		磯 部 信一郎
					教授	博士(農学)		満 生 慎 二
					教授	理学博士		木 山 亮 一
	教授				博士(生命科学)		高 橋 芳 弘	
	教授				博士(農学)		中 山 素 一	
	教授				博士(工学)		中 原 由木子	
	教授				博士(農学)		金 田 弘 拳	
	教授				博士(工学)		河 野 俊 輔	
	准教授	博士(農学)		高 杉 美佳子				
	准教授	博士(工学)		藤 本 和 久				
	准教授	博士(工学)		中 尾 嘉 秀				
准教授	博士(工学)		平 山 智 之					
講師	博士(工学)		佐 野 洋 一					
選択科目	バイオロボティクス特別演習Ⅰ	2		教授	博士(工学)		日 垣 秀 彦	
	物質生命化学特別演習Ⅱ		2	教授	博士(理学)		迎 勝 也	
				教授	博士(工学)		磯 部 信一郎	
				教授	博士(農学)		満 生 慎 二	
教授				理学博士		木 山 亮 一		
教授				博士(生命科学)		高 橋 芳 弘		
教授				博士(農学)		中 山 素 一		
教授				博士(工学)		中 原 由木子		
教授				博士(農学)		金 田 弘 拳		
教授				博士(工学)		河 野 俊 輔		
准教授	博士(農学)		高 杉 美佳子					
准教授	博士(工学)		藤 本 和 久					
准教授	博士(工学)		中 尾 嘉 秀					
准教授	博士(工学)		平 山 智 之					
講師	博士(工学)		佐 野 洋 一					
選択科目	バイオロボティクス特別演習Ⅱ		2	教授	博士(工学)		日 垣 秀 彦	

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
物 質 生 命 化 学 分 野	選 択 科 目	無機化学特論	2		教 授	博士（工学）	中 原 由木子
		有機化学特論	2		教 授	博士（工学）	磯 部 信一郎
		有機合成化学特論	2		准 教 授	博士（工学）	平 山 智 之
		物理化学特論	2		准 教 授	博士（工学）	中 尾 嘉 秀
		環境化学特論	2		教 授 講 師	博士（生命科学） 博士（工学）	高 橋 芳 弘 佐 野 洋 一
		分析化学特論	2		教 授	博士（工学）	河 野 俊 輔
		物質環境化学特論Ⅰ	2		准 教 授 准 教 授	博士（工学） 博士（工学）	中 尾 嘉 秀 平 山 智 之
		物質環境化学特論Ⅱ		2	教 授	博士（工学）	磯 部 信一郎
		生物有機化学特論	2		教 授	博士（理学）	迎 勝 也
		生物化学工学特論	2		准 教 授	博士（工学）	藤 本 和 久
		植物分子生物学特論	2		教 授	博士（生命科学）	高 橋 芳 弘
		微生物工学特論	2		教 授	博士（農学）	満 生 慎 二
		生物分離工学特論	2		兼 任 講 師 (崇城大学教授)	工学博士	草 壁 克 己
		応用生物学特論	2		兼 任 講 師 (九州大学大学院教授)	医学博士	飯 田 弘
		分子細胞生物学特論	2		教 授	理学博士	木 山 亮 一
		食品栄養化学特論	2		准 教 授	博士（農学）	高 杉 美佳子
		食品製造特論Ⅰ	2		教 授	博士（農学）	中 山 素 一
		食品製造特論Ⅱ		2	教 授	博士（農学）	金 田 弘 拳
		応用生命化学特論Ⅰ	2		教 授 准 教 授	博士（農学） 博士（農学）	満 生 慎 二 高 杉 美佳子
		応用生命化学特論Ⅱ		2	教 授 教 授 准 教 授	博士（理学） 博士（生命科学） 博士（工学）	迎 勝 也 高 橋 芳 弘 藤 本 和 久
		バイオメカニクス特論Ⅰ	2		教 授	博士（工学）	日 垣 秀 彦
		バイオメカニクス特論Ⅱ	2				(未 定)
		組織工学特論	2		兼 任 講 師 (九州大学大学院准教授)	博士（工学）	藏 田 耕 作

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
土 木 デ ザ イ ン 分 野	必修科目	土木デザイン特別研究Ⅰ	2		教 授 教 授 教 授 教 授 准 教 授	博士(工学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(工学) 博士(工学)	○ 山 下 三 平 ○ 林 泰 弘 ○ 内 田 泰 三 ○ 松 尾 栄 治 ○ 横 田 雅 紀
		土木デザイン特別研究Ⅱ		6	教 授 教 授 教 授 教 授 准 教 授	博士(工学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(工学) 博士(工学)	○ 山 下 三 平 ○ 林 泰 弘 ○ 内 田 泰 三 ○ 松 尾 栄 治 ○ 横 田 雅 紀
	選択科目	土木デザイン特別演習Ⅰ	2		教 授 教 授 教 授 准 教 授 准 教 授 准 教 授	博士(工学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学)	山 下 三 平 林 泰 弘 内 田 泰 三 松 尾 栄 治 横 田 雅 紀 奥 村 徹
		土木デザイン特別演習Ⅱ		2	教 授 教 授 教 授 准 教 授 准 教 授 准 教 授	博士(工学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(農学)	山 下 三 平 林 泰 弘 内 田 泰 三 松 尾 栄 治 横 田 雅 紀 奥 村 徹
	科目	風景デザイン特論	2		教 授	博士(工学)	山 下 三 平
		河川デザイン特論	2		教 授	博士(工学)	山 下 三 平
		生態学特論	2		教 授	博士(農学)	内 田 泰 三
		応用生態学特論	2		教 授	博士(農学)	内 田 泰 三
		海岸防災工学特論	2		准 教 授	博士(工学)	横 田 雅 紀
		沿岸環境保全特論	2		准 教 授	博士(工学)	横 田 雅 紀
		応用水理学特論	2				(未 定)
		地下水工学特論	2				(未 定)
		建設工学特論	2				(未 定)
		維持管理工学特論	2				(未 定)
		構造工学特論	2		准 教 授	博士(工学)	奥 村 徹
		耐震工学特論	2		准 教 授	博士(工学)	奥 村 徹
		コンクリート構造工学特論	2		教 授	博士(工学)	松 尾 栄 治
		建設材料特論	2		教 授	博士(工学)	松 尾 栄 治
		地盤工学特論	2		教 授	博士(工学)	林 泰 弘
		環境地盤工学特論	2		教 授	博士(工学)	林 泰 弘
		都市防災学特論	2		准 教 授	博士(農学)	山 田 忠
		防災計画学特論	2		准 教 授	博士(農学)	山 田 忠

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
建 築 デ ザ イ ン 分 野	必修科目	建築デザイン特別研究Ⅰ	2		教 授	博士(工学)	○ 小 泉 隆
					教 授	博士(工学)	○ 日 高 圭一郎
					教 授	博士(工学)	○ 北 山 広 樹
					教 授	博士(工学)	○ 花 井 伸 明
					教 授	博士(工学) ※	○ 白 川 敏 夫
					教 授		○ 矢 作 昌 生
					教 授	博士(工学)	○ 富 田 英 夫
	科目	建築デザイン特別研究Ⅱ		6	准 教 授	博士(工学)	○ 隈 裕 子
					教 授	博士(工学)	○ 小 泉 隆
					教 授	博士(工学)	○ 日 高 圭一郎
					教 授	博士(工学)	○ 北 山 広 樹
					教 授	博士(工学)	○ 花 井 伸 明
					教 授	博士(工学) ※	○ 白 川 敏 夫
					教 授		○ 矢 作 昌 生
ザ イ ン 分 野	選択科目	建築デザイン特別演習Ⅰ	2		教 授	博士(工学)	小 泉 隆
					教 授	博士(工学)	日 高 圭一郎
					教 授	博士(工学)	北 山 広 樹
					教 授	博士(工学)	花 井 伸 明
					教 授	博士(工学)	白 川 敏 夫
					教 授		矢 作 昌 生
					教 授	博士(工学)	内 田 和 弘
	科目	建築デザイン特別演習Ⅱ		2	教 授	博士(工学)	香 川 治 美
					教 授	博士(工学)	富 田 英 夫
					教 授	博士(工学)	松野尾 仁美
					准 教 授	博士(工学)	姜 優 子
					准 教 授	博士(工学)	隈 裕 子
					准 教 授	博士(工学)	大 庭 知 子
					教 授	博士(工学)	小 泉 隆
	科目	建築デザイン特別演習Ⅱ		2	教 授	博士(工学)	日 高 圭一郎
					教 授	博士(工学)	北 山 広 樹
					教 授	博士(工学)	花 井 伸 明
					教 授	博士(工学)	白 川 敏 夫
					教 授		矢 作 昌 生
					教 授	博士(工学)	内 田 和 弘
					教 授	博士(工学)	香 川 治 美
野	科目	建築デザイン特別演習Ⅱ		2	教 授	博士(工学)	富 田 英 夫
					教 授	博士(工学)	松野尾 仁美
					准 教 授	博士(工学)	姜 優 子
					准 教 授	博士(工学)	隈 裕 子
					准 教 授	博士(工学)	大 庭 知 子
					准 教 授	博士(工学)	大 庭 知 子
					准 教 授	博士(工学)	大 庭 知 子

区 分		授 業 科 目	単 位		職 名	担 当 者	
			1年	2年			
建 築 デ ザ イ ン 分 野	選 択 科 目	施設計画特論	2		准 教 授	博士 (工学)	大 庭 知 子
		住環境計画特論	2		教 授	博士 (工学)	松野尾 仁 美
		空間設計特論	2		教 授	博士 (工学)	小 泉 隆
		建築設計特論	2		教 授		矢 作 昌 生
		建築歴史特論Ⅰ	2		教 授	博士 (工学)	富 田 英 夫
		建築歴史特論Ⅱ	2		教 授	博士 (工学)	富 田 英 夫
		保存修景計画特論	2		教 授	博士 (工学)	富 田 英 夫
		都市計画特論	2		教 授	博士 (工学)	日 高 圭一郎
		施設計画演習	2		准 教 授	博士 (工学)	大 庭 知 子
		住環境計画演習	2		教 授	博士 (工学)	松野尾 仁 美
		空間設計演習	2		教 授	博士 (工学)	小 泉 隆
		建築設計演習		2	教 授 教 授	博士 (工学)	日 高 圭一郎 矢 作 昌 生
	自 由 科 目	都市計画演習	2		教 授	博士 (工学)	日 高 圭一郎
		建築環境工学特論	2		教 授 准 教 授	博士 (工学) 博士 (工学)	香 川 治 美 隈 裕 子
		建築設備特論	2		教 授	博士 (工学)	北 山 広 樹
		建築設備設計演習		2	教 授	博士 (工学)	北 山 広 樹
		建築材料特論	2		教 授	博士 (工学)	白 川 敏 夫
		構造力学特論Ⅰ	2		教 授 准 教 授	博士 (工学) 博士 (工学)	白 川 敏 夫 姜 優 子
		構造力学特論Ⅱ	2		教 授	博士 (工学)	花 井 伸 明
		建築振動特論		2	准 教 授	博士 (工学)	姜 優 子
		合成構造特論	2		教 授	博士 (工学)	内 田 和 弘
		鉄筋コンクリート構造特論	2		教 授	博士 (工学)	花 井 伸 明
		建築構造設計演習	2		教 授	博士 (工学)	内 田 和 弘
		地震工学特論	2				(未 定)
		地震工学演習		2			(未 定)
共 通	選 択 科 目	建築士実務実習Ⅰ	4				建築デザイン分野教員
		建築士実務実習Ⅱ		4			建築デザイン分野教員
		建築士実務実習Ⅲ		4			建築デザイン分野教員
		産業技術デザイン実務実習	2				全教員

- (注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。
 2. ※の教員は、残り任期の関係上、修了までの研究指導はできない。
 ※の教員を志望する際は、事前に大学院事務室に相談すること。

○ 履修方法等

- ① 学生は、特別研究の担当教員(以下「指導教員」という。)から、授業科目の選択及び学位論文等の作成その他全般について指導を受けるものとする。
- ② 学生は、2年以上在学し、所定の授業科目について必修科目8単位、選択科目22単位以上、合計30単位以上を修得するものとする。
ただし、特に優れた業績を上げたと認められた者の在学期間については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- ③ 学生は、指導教員へ所定の期日までに、学位論文または課題研究報告書を提出するものとする。
- ④ 全研究科共通科目を10単位を限度として修了に必要な選択科目の修得単位に加えることができる。
- ⑤ 研究科が教育上有益と認めるときは、他の大学院、専門職大学院の授業科目及び他研究科の選択科目の履修を認めることができる。なお、修了に必要な選択科目として認定することができる単位は、前④の全研究科共通科目と合わせて10単位以内とする。
- ⑥ 他研究科の授業科目を履修しようとする学生は、あらかじめその授業科目担当教員の許可を受けなければならない。

入学資格審査

1. 入学資格審査について

入学資格審査は、出願を希望する研究科において、申請書類により行う。なお、入学資格審査に際して、申請者を出校させる場合がある。

2. 提出書類

書類等	摘要
(1) 入学試験出願資格認定申請書（様式9）	
(2) 研究業績調書（様式6）	学術論文等の資料を添付すること
(3) 研究・業務報告書（様式7）	現在までに携わった研究・業績について、記入すること
(4) 出願書類等一式	出願を希望する研究科・課程・入試区分により、必要な出願書類 (博士後期課程の受験者は、修士学位論文の写しは必要なし、 又修了・成績証明書等については最終学校のものとする)

3. 申請期間

(1) 申請期間

6月17日（月）～6月21日（金）

(2) 願書受付時間・場所

① 受付時間

9時から16時まで（平日の11時20分から12時20分及び土日、祝祭日は除く）

② 受付場所及び問い合わせ先

九州産業大学教務部大学院事務室（九州産業大学内1号館1階）

電話（092）673－5596

(3) 出願方法

出願書類は、本学に持参することが望ましいが、都合により郵送する場合は、簡易書留郵便とし、締切日までに必着のこと。

4. 審査の結果

審査の結果は、以下の方法により、申請者に通知する。

認定された場合	受験票の発送をもって代える。
認定されなかった場合	結果を文書にて通知する。 なお、検定料は、後日返還する。

教育方法の特例について

本学大学院は、大学院設置基準第14条(下記注1)に基づき教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができます。

教育方法の特例による教育の概要は、以下のとおりです。

1. 対象者

社会人

2. 授業時間(月曜日から土曜日)

時限	時間	備考
1	9:00 ~ 10:40	昼間
2	11:00 ~ 12:40	
3	13:40 ~ 15:20	
4	15:40 ~ 17:20	
5	17:40 ~ 19:20	昼夜合同
6	19:30 ~ 21:10	夜間

3. 履修について

社会人は、夜間の時間帯に開講する授業科目を中心に履修する(昼間の履修も可)ことになります。原則として、昼間と夜間の時間帯にそれぞれ同じ授業科目を開講しますが、受講状況等によって、開講する授業科目の時間割の調整を行う場合があります。

4. その他

長期履修制度及び早期修了制度について

「長期履修制度」は職業を有している等、個人の事情により、標準修業年限を超えて計画的に履修し修了する制度です。これにより博士前期課程(標準修業年限2年)では3年又は4年、博士後期課程(標準修業年限3年)では4年以上6年以内での履修が可能となります。長期履修学生の修学費の年額は、標準修業年限で納める額を長期履修の年限で除した額となっており、年間の修学費が減額されます。

「早期修了制度」は所属する研究科で、特に優れた業績を上げたと認められた場合は、標準修業年限未満(1年以上)で修了できるものです。

本学は全研究科で「早期修了」及び「長期履修」の制度が規定されており、各自の研究計画やライフプランに合わせて大学院を修了することが可能です。

(注1) 大学院設置基準第14条(教育方法の特例)

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

入学金・修学費及び委託徴収金〔令和6年度入学者適用〕

(博士前期課程)

(1) 入学金・修学費及び委託徴収金

(単位:円)

研究科 期別		経済・ビジネス研究科 国際文化研究科		工学研究科		芸術研究科		情報科学研究科	
		本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者	本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者	本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者	本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者
入 学 金		免除	70,000	免除	110,000	免除	130,000	免除	110,000
修学費	授 業 料	470,000	470,000	670,000	670,000	700,000	700,000	670,000	670,000
	教育充実費	120,000	120,000	250,000	250,000	340,000	340,000	300,000	300,000
	小 計	590,000	590,000	920,000	920,000	1,040,000	1,040,000	970,000	970,000
委託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合 計 (年 額)		591,000	661,000	921,000	1,031,000	1,041,000	1,171,000	971,000	1,081,000

(2) 納付区分

(単位:円)

研究科 期別		経済・ビジネス研究科 国際文化研究科		工学研究科		芸術研究科		情報科学研究科	
		本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者	本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者	本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者	本学の 卒業生 又は修了者	他大学の 卒業生 又は修了者
全納	年 間 納付額	591,000	661,000	921,000	1,031,000	1,041,000	1,171,000	971,000	1,081,000
分納	第1回 納付額	296,000	366,000	461,000	571,000	521,000	651,000	486,000	596,000
	第2回 納付額	295,000	295,000	460,000	460,000	520,000	520,000	485,000	485,000

- (注) 1. 第1回納付額は、「入学金」・「修学費(授業料+教育充実費)の半額」・「委託徴収金」の合計額。
 2. 第2回納付額は、「修学費(授業料+教育充実費)の半額」。
 3. 本学卒業生又は修了者で博士前期課程、博士後期課程に進学する者は、入学金を免除する。

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって皆さまにご登録頂きました個人情報は、厳密に取り扱い、九州産業大学教務部大学院事務室が責任を持って管理を行います。

お知らせを頂いた住所・氏名・その他の個人情報は、

入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援(奨学・授業料の免除及び健康管理等)及び修学指導などの教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用いたします。

また、業務は九州産業大学教務部大学院事務室が行います。

上記の場合を除き、九州産業大学教務部大学院事務室では出願にあたり皆さまにご登録いただきました個人情報は、本人の承諾なく第三者に開示することはありません。

九州産業大学教務部大学院事務室では、本人から登録いただいた個人情報の開示・訂正・削除の求めに際しては、個人を認識できる情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)により、本人であることを確認させていただきます。

九州産業大学教務部大学院事務室による個人情報管理に関する質問は、下記へお問い合わせ下さい。

TEL : 092-673-5596

9:00～16:30(土曜、休祭日、年末年始を除く)

E-mail : gakuin@ml.kyusan-u.ac.jp ※メールでのお問い合わせの際は、ご自身の連絡先等の記載をお願いいたします。

(登録いただいた個人情報の開示・訂正・削除のご依頼もこちらで照会できます。)